



吉川小だよい 夏休み号

京都府亀岡市立吉川小学校

令和7年7月18日発行

〒621-0014 亀岡市吉川町穴川平田17番地 TEL 0771-22-1210

E-Mail el-yoshikawa@edu.city.kameoka.kyoto.jp



おこだでませんように

今年の七夕は、7が3つ並ぶメモリアルな一日でした。吉川小では、今年も安全協力員さんや読み聞かせサークル「たんぽぽ」の方などにお世話になって笹を用意していただき、七夕かざりをつくりました。子どもたちの願いを見ていると、意外(?)な将来の夢や願いを知ることができ、とても興味深かったです。来週にお世話になる個人懇談の際に、ぜひご覧ください。

さて、七夕といえば私には思い出される絵本があります。それは、くすのきしげのりさん作の「おこだでませんように」という本です。簡単にあらすじを紹介します。

主人公は、小学1年生の男の子です。元気ですがちょっと乱暴なところがあるので、学校でも家でも先生やお母さんによく怒られています。でも、怒られるようなことをした背景には、彼なりの理由があるのです。

例えば、妹を泣かせてしまったのは、先に妹がわがままを言ったから。友達を叩いたり蹴ったりしてしまったのは、「仲間に入れてやらへん」と言わされたから。言い返すともっと怒られるから、彼は何も言いません。「ぼくは、いつもおこられてばっかりや…」「どないしたら、ほめてもらえるのやろ…」と悩みます。

七夕の日、彼はあれこれ考えて一つのお願いを短冊に書きます。それが、「おこだでませんように（おこられませんように）」なのです。それを見た先生とお母さんは、その言葉を受けとめ、これまでの彼との関わり方を振り返ります。そして、話を聞かずに怒ったことを反省して、彼をほめたりぎゅっと抱きしめたりするのです。

私も、あまり話を聞かずに一方的に指導していたことはなかったか、素直な気持ちで子どもをほめられているか、よく自分のことを振り返ります。この本のことを思い出しながら。



先生やお母さんにほめてもらった主人公の彼は、最後にこうつぶやきます。

「たなばたさま ありがとう ほんまに ありがとう

きょう ぼくは ものすごく しあわせです

おれいに ぼく もっと もっと ええこに なります」

吉川小の子どもたちが2学期からも元気にがんばって、もっともっと「ええこ」になりますように。

校長 谷口 浩之